

※ 評価 大変良い…4 良い…3 もう少し…2 改善を要する…1

評価項目	評価指標	具体的手立て	現状（達成状況及び対策）	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
1 学力向上	(1) 基礎・基本の確実な定着	① 個に応じた指導の充実	3～6年生においては、国、算は複式指導、社、理は、1年担任及び教頭が授業を担当することで学年別指導を実施している。それにより、できるだけ学年の発達段階に応じた無理のない個別指導ができるようにした。特に個別の支援が必要な児童については特別支援教育支援員による支援を行った。今後はタブレット等も活用して、さらに児童の理解に応じたきめ細やかな指導の充実を目指していく。	3	3	<p>○これらの施策でいいと思います。授業参観ではそれが伝わってきました。タブレットの活用は学校規模に依らない優れたツールです。今後先進例を積極的に活用を。</p> <p>○先生方総勢での教育体制は非常に評価できる。現在は、複式学級執行の模索中と思われるが、一日も早い最善策の確立を願いたい。</p> <p>○複式指導の大変さを聞き、また参観させてもらってそのことを感じました。今後とも御指導宜しく願います。</p> <p>○少人数なので個に応じた指導はしやすいのでは。</p> <p>○授業参観を拝見して思うのですが、英語やタブレットなど多岐多様になって大変だなど。それを指導される先生方もそれなりのスキルが要求され、ずいぶんと御苦労されていることと思います。先生方の御苦労もあって子どもたちは十分にいきいきと学んでいるように思えます。</p> <p>○複式指導の難しさを感じました。より一層の先生方の努力をお願いします。</p> <p>○先生方の御努力はしっかり伝わってきます。ただ、アンケートの結果、テストの結果などで評価が低くなったのではと思います。複式学級の問題もあるかと思いますが、少人数ゆえの目の届く御指導を期待します。授業で子どもたちがうまくタブレットを使っているのを感じました。コロナ渦も含めて時代の違いを感じました。</p>
		② 「串間学力調査の平均点」市平均以上	学年差がはっきり表れる結果となった。1, 3, 6年生については、すべての教科で市平均を上回ることが、2, 4, 5年生についてはほぼすべての教科で市平均を下回る結果であった。この結果を分析し、年度末に向けて授業やおしおタイム（毎週金曜日13:55～14:15）の中で定着を図っていくとともに、教師の指導改善に努める。	2.5	2.5	<p>○分母が小さいだけに結果がかなり顕著に出ます。平均を下回った場合もその分改善の芽がよく見えてはいるはず、先生の指導に期待します。</p> <p>○学力調査の平均点での評価は、本校のような少ない児童数では一人の与えるウエイトが大きく困難では。すべての教科で平均点以上の1, 3, 6年生の児童数は、3, 5, 3人で本校の中でも非常に少ない人数の学年です。授業体制の結果か、また、人数ウエイトの影響かの分析が必要と感じる。</p> <p>○6年生は全国学力調査でも串間学力調査でも素晴らしい結果となり、中学校へ進学しても安心だと思われます。算数においては積み重ねが重要と思われるので5年生の平均が気になります。</p> <p>○学年によって差がある原因を探り、それに応じた指導をすればよいと思う。</p> <p>○昨年度の学力検査結果と比較してみました。今年度市の平均を上回った3年生、6年生は昨年度も市の平均点を全科目で上回っていましたので、もともと力のある子どもたちだと思います。それを踏まえたくて、低学力児童への個別指導もあってよいかと思います。</p> <p>○前年度と比べると、2, 4, 5年生共に少しは上がっているのですさらなる努力をお願いします。</p> <p>○確かに学年差はありますね。6年生はまさに少数精鋭で素晴らしいです。全体的には算数が弱い傾向のようですが何か理由はありますか？</p>

評価項目	評価指標	具体的手立て	現状（達成状況及び対策）	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
1 学力向上	(1) 基礎・基本の確実な定着	③ 毎月4冊以上の読書	読書目標を昨年度の月1.5冊から本年度は月4冊に変更したが、12月末現在3.4冊で目標を下回っている。学校では朝の読書や読書の時間（年間20～60時間）等を設定して読書に親しむ時間を設定している。課題は、昨年度同様家庭での読書の推進である。家庭への啓発を行うとともに連携を図って読書量のアップを目指す必要がある。	2.5	2.5	<p>○1.5冊→4冊は多すぎたのでしょうか。今年度チャレンジして目標に届かなかったのですが、多くの課題を発見できたことは次につながります。自己評価は2.5ですが、チャレンジしたことに3です。</p> <p>○電子機器の発達した今日、スマホ等の使用に邪魔されて、なかなか読書意欲を植え付けることは難しく思える。このことは、アンケート結果から見られるように児童並びに保護者の評価が非常に低い。学校のみならず家庭での「読書の習慣づけ」指導が必要なのでは。</p> <p>○読書アンケート③の取り組んでいますかについて児童81%、保護者45%の回答の差が気になります。</p> <p>○児童と保護者のアンケート結果を見ると、「学校では読書をするが、家庭ではしない」ということだと思います。読書については乳幼児の家庭での読み聞かせと関係があるので、低学年児童への親子読書の必要性を説くのも一つの方法かもしれません。</p> <p>○読書への保護者の関心が低いのでさらなる協力が必要です。</p> <p>○児童アンケートで（NO1）先生は丁寧にわかりやすく教えてくれるでは100%なのに、NO2、NO3では結果とつながっていませんね。読書については児童評価81%（肯定割合）の一方、保護者からは低い評価となっています。多分保護者の見方が現実的だと思います。学習の基本は読書にあると思います。クラスで読書コンテストのような取組があるのでしょうか。我が家の例は30年ほど前になりますが読んでいました。</p>
	(2) 学ぶ意欲の育成	① 読解力と表現力の育成	校内研究に「読解力の育成」を掲げ、読解力育成のための手立てを検討し、教師による相互授業参観を通して授業改善を図っているところである。目に見えた成果がなかなか見られないが、国語科だけにとどまらず、全教育活動を通して読解力と表現力の底上げを図っていくことで読解力向上をめざしていく。	2.5	2.5	<p>○読解力とは困難な課題ですが、相互参観授業ではなく、教職員間の徹底議論すべきテーマです。先進例を基に具体的手立てを全教師で共有する必要があります。</p> <p>○読解力は児童アンケートで示す69%の如く、低いように感じる。また、保護者の評価も45%と低い結果である。先生方の評価で、成果が目に見えない現状であることから、授業改善の対応が必要と感じます。表現力は児童と保護者の評価に差があるように見受けられる。児童の自己評価が勝っているとすれば底上げを図るべきと思える。</p> <p>○読書が足りなければ必然的に読解力もないと思います。</p> <p>○「読解力の育成」には「読書の質」が大きいかかわっていると思うので、本の読み方（感じ方とは違います）の指導をするのも一つの方法かと思えます。読解力と表現力は対人関係の上でも重要なファクターとなりますので十分付けてあげてください。</p> <p>○読解力については子どもと保護者、先生ではだいぶ温度差があるようですがあせらずに対応していただければいいと思います。</p> <p>○「読解力」も読書につながると思われます。本以外に子ども向けの新聞活用もいいのでは。</p>

※ 評価 大変良い…4 良い…3 もう少し…2 改善を要する…1

評価項目	評価指標	具体的手立て	現状（達成状況及び対策）	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
1 学力向上	(2) 学ぶ意欲の育成	② 家庭学習の定着	取り組み方に個人差はあるが、おおむね家庭の協力があり提出率もよく、家庭での学習習慣が身に付いてきている。今後、来年度に向けて宅習の内容（質と量）についても検討することで、学力向上につながる効率的な宅習の在り方を探っていく。	3	3	<p>○宿題や宅習がためになっているとのアンケート回答、84%がA評価。教職員6名全員が3評価とはすばらしい。この施策をさらに深耕してください。</p> <p>○三者アンケート結果で示す如く、素晴らしい高評価となっている。今後も持続するように指導ください。</p> <p>○宅習の質と量は検討の余地があると思います。</p> <p>○家庭学習については、児童、保護者、先生方とも高評価で、申し分ないと思います。あとは内容ですが、長期休業や連休等の時に読書感想文を宿題にしたらいかがでしょうか。読書の質＝読解力向上につながると思います。</p> <p>○先生方のコメントのとおりだと思います。</p> <p>○コロナ渦において家庭での学習は重要だと思います。低学年は特に家庭の協力が必要だと思います。</p>
		③ 立腰の徹底	指導をした際には一時的に姿勢はよくなるが、それが長続きしない傾向が全体的に見られる。特にタブレットを活用する際は姿勢が崩れることが多い傾向が見られた。低学年のうちにしっかり立腰の習慣を身に付けさせておくとともに、繰り返し指導を行っていく必要がある。	2	2	<p>○三者アンケートで最も肯定割合が低い部分です。今までにない「立腰」の取組ですが、辛抱して「継続は力なり」を実践してください。</p> <p>○姿勢で生じる影響は、体の健康にとどまらず精神面にも及ぶものと考え。特にタブレット等に没頭すると立腰を壊すこととなり、こまめな指導が必要と思われる。</p> <p>○机に目が近い子どもが多い。</p> <p>○これは家庭での指導が大事だと思います。</p> <p>○私たちが子どもころは立腰の姿勢を撮った写真が教室の後ろの方に貼ってあったのですが、今はないですね。大切なことなので来年度も千野棒踊りの授業があればその時に正座等を指導したいと思います。</p> <p>○確かにきちんとした姿勢は必要です。背骨が曲がったり、背が丸くなったりする要因にもなるのではと不安を感じます。医学的な情報も含めて啓発を進めてください。</p> <p>○目の健康のためにもきれいな姿勢を保ってほしい。</p>

※ 評価 大変良い…4 良い…3 もう少し…2 改善を要する…1

評価項目	評価指標	具体的手立て	現状（達成状況及び対策）	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
2 心の教育		① いじめアンケートの実施と適切な対応	毎月いじめに関するアンケートを実施するとともに、年間3回教育相談週間を計画したことで、児童の悩みの早期発見、解決につなげることができた。引き続き児童の小さなサインを見逃さないようにしていく。	3	3	<p>○本城小学校でいじめがないことにホッとします。これからも「小さなサイン」を見逃さない教職員の眼と意志に期待します。</p> <p>○児童のアンケートから見てもこまめないじめ対応が成果を上げているものと思われる。いじめ問題は早期発見、対応がすべてと思われる。今後もこまめな目配り気配りで大きな問題の発生阻止をお願いします。</p> <p>○アンケートで保護者は100%、児童が84%となっており、学校の対応がよい結果だと思えます。</p> <p>○いじめについてはまさに、「小さなサインを見逃さない」ことが大事だと思います。人権教育ともつながりますので十分な対応をお願いします。保護者アンケート8で、CとDの評価が一人ずつあったのが気になりました。</p> <p>○楽しく道徳の授業に臨んでいることは素晴らしいです。先生方の努力が伝わりました。</p>
	(1) 望ましい人間関係の育成	② あいさつと言語環境の整備	友達の名前をあだ名で呼んだり呼び捨てにしたりする児童が多い傾向が見られたため指導をしてきているところである。特に、教師が見ていないところでの言葉遣いについては気になる。今後も繰り返し徹底して言葉遣いについては指導していく必要がある。	2.5	2.5	<p>○児童は84%、保護者は73%、教職員は49%の肯定的割合ギャップが如実に問題点を捉えている。児童は自分たちは悪くない、正しい言葉遣いをしている→教職員の「見ていないところ」が問題であれば、児童同士でイエローカードやレッドカードで指摘し合う等の工夫が必要なのでは。</p> <p>○児童・保護者と先生方との評価に大きな開きが生じていますが。現状のコメントで察するに、児童間の声かけに問題がある様子。子どもは得てして愛情の裏返しで呼び捨ても考えられる。特にいじめと思われる事象かどうかの見極めで指導を徹底されたい。交通安全街頭指導や千野棒踊り時に多くの児童と接しているが元気のよい挨拶を受け気持ちが良いです。</p> <p>○優しい言葉遣いの指導をお願いします。言葉遣いが優しいと行動も優しくなる気がします。</p> <p>○これは家庭での指導が大事だと思います。</p> <p>○あいさつについてはよくできているように思います。あだ名での呼び方は、時として人によっては嫌な思いをして「いじめ」と感じることもあるので気をつけたいですね。ただ相手に敬意を払ってのあだ名（ニックネーム？）は人間関係を豊かにするので、一概にダメとは言えません。そここのところは難しいですね。</p> <p>○言葉は下手すれは相手のダメージを与える凶器にもなるかと思えます。ぜひ小さいうちから乱れないように御指導ください。</p> <p>○一概にあだ名が悪いとは言えないので自分が言われてもうれしいあだ名にできたらと思います。</p>

※ 評価 大変良い…4 良い…3 もう少し…2 改善を要する…1

評価項目	評価指標	具体的手立て	現状（達成状況及び対策）	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
2 心の教育	(1) 望ましい人間関係の育成	③ 道徳の授業の充実	自分の考えをはっきり表明させることで、一人一人が授業に参加しているという意識を持たせるようにした。全学年授業参観で保護者に観ていただくことにより、保護者への啓発も行っていく。	3	3	<p>○児童の「自分の意見をはっきり言う、楽しく学習」する姿や保護者の学校は道徳授業を適切に発信しているとの評価が高いことは指標達成の成功例として自信をもってよいです。</p> <p>○一人一人が授業に参加していると思える環境づくりは授業が面白くなる非常に良い取り組みと考える。</p> <p>○全学年授業参観はよいことだと思います。</p> <p>○昨年度同様のコメントで申し訳ないですが、親の方の乱れが気になります。</p> <p>○参観時にははっきりと意見をいえていたと感じました。</p> <p>○アンケートの結果に表れています。</p>
	(2) 校内の美化や整理整頓	① 無言清掃の徹底	無言清掃については、まだまだ児童に浸透していない現状である。無言の意味を児童に理解させ、上級生が下級生に教えていける清掃となるように指導を行っていく。	3	3	<p>○児童や保護者の評価は高いが、教職員は満足していない。やはり浸透していない現状を鑑みると関係者評価3は無理がある。指導深化の期待を込めて2.5とします。</p> <p>○無言清掃は集中力の育成の一環として必要です。</p> <p>○社会でも無言清掃のできない人は能率が上がりません。これも家庭での指導が大事です。</p> <p>○少人数での清掃、効率化の面でも集中力を養うためにも無言清掃は必要かと思います。引き続きご指導をお願いします。</p> <p>○上級生ができていればよいと思います。</p>

※ 評価 大変良い…4 良い…3 もう少し…2 改善を要する…1

評価項目	評価指標	具体的手立て	現状（達成状況及び対策）	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
2 心の教育	(2) 校内の美化や整理整頓	② トイレのスリッパ並べの徹底	乱雑になることはないが、向きが反対になっていることが多い。児童への繰り返しの指導が徹底されなかった。次に使う人のことを考えた行動がとれるように指導を徹底する。	3	2	<p>○永遠のテーマですね。以前、スリッパ担当者を時限的に決めて、その児童に責任を担当させるアイデアを提案したのですが。</p> <p>○美化のみならず、企業の品質管理で言う「次工程はお客様」の如く、次の使う人が使いやすくする思いやり精神も含まれます。根気強い指導をお願いします。</p> <p>○参観の時はいつもきれいに並べてあります。次の人のことを考える行動はいろいろな思いやりにつながると思います。</p> <p>○次の人のことを考えることは思いやりの心を身に付けなければならないと思います。</p> <p>○保護者の評価より、児童の評価が低かったことに微笑ましく感じました。子どもたちは子どもたちなりに理解しているのだと思います。広大な校庭を維持管理するのだけでも大変だと思います。地域の力が必要な時は遠慮なく相談してください。</p> <p>○別紙の心の教育では評価が非常に低かったので2.5としました。</p> <p>○なぜスリッパをきれいに並べるのか繰り返し指導の徹底をお願いします。</p>
3 体力の向上	(1) 体力づくり	① 体力テストで県平均を上回る項目60項目以上(96項目中)	本年度はぎりぎりではあるが目標の60項目県平均を上回ることができた。学年によって達成できた項目が違うため、体力テストの分析をもとに学年ごとの児童の実態に応じた体力向上を体育の時間を中心に行っているところである。	3	3	<p>○令和元年度の県平均65項目以上の目標が今年度60項目に下がりましたが、それなりに指導の足跡が見えます。3は妥当ですが、教職員の肯定割合は50%ですね。</p> <p>○人数的な影響はあると思えるが、6年生ではすべての項目が平均以上で素晴らしい。また、2, 4年生に平均未満の項目が多いようだ。項目では、反復横跳びのような機敏な運動が苦手と思える。遊びを組み込んだ楽しみながらの体力づくりを進められては。</p> <p>○昼休みの縄跳びの様子を見たことがあり、かなり活動的に思われますが休みの日など家庭で体を動かしているのでしょうか。</p> <p>○体力面では個人差が大きいのので指導が大変だと思いますが、生きていくうえで何事も最後は体力がものをいいます。全員がアスリートになる必要はないけど、身体を動かすことの楽しさを子どもたちに実感させてほしいものだと思います。</p> <p>○コロナ渦において目標を達成できたことは先生方の努力を感じました。</p>

評価項目	評価指標	具体的手立て	現状（達成状況及び対策）	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
	(1) 体力づくり	② 虫歯治療率80%以上	虫歯治療率は現在50%（4名/8名）で昨年度の43%より改善されたが目標の80%は達成できていない現状である。引き続き、早めの治療を保護者へお願いしていく。	3	2	<p>○引き続き保護者との連携で改善を。ターゲットが明白であるテーマです。</p> <p>○更なる保護者の意識向上が必要と思える。</p> <p>○家庭の状況によりなかなか治療に連れて行けないのでしょうか。</p> <p>○本城地区には歯科医院がないのも治療率が低い原因の一つだと思います。保護者も忙しいのでこの方面の手立てを考える方が治療率を上げるには大切だと思います。まちづくり協議会「チーム本城」でも検討したいと思います。</p> <p>○治療率は50%とのことですが、8名が虫歯があるということで虫歯になっている割合は低いということでしょうか。歯の健康は大変重要なものと実感しています。ぜひ歯を大事にしてください。</p> <p>○更なる保護者の努力が必要と思えます。</p>
3	(2) 食育の充実	① 早寝・早起き・朝ごはんの推進（児童の意識調査95%以上）	平日は守ることができているが、週末になると崩れてしまう傾向がある。全体として月曜日とその乱れの影響が見られることはほとんどない。土日の過ごし方について児童に行うとともに、家庭への啓発も行っていく必要がある。	3	2.5	<p>○95%が目標数値です。3者のアンケート数値もあまりよくありませんが。</p> <p>○児童のアンケート結果では84%と目標以下です。これは保護者の対応が大事だと思える。保護者の意識向上を願いたい。</p> <p>○家庭でも週末になると親が早寝早起きができていないと思えます。</p> <p>○月曜病の子どもがいないことは何よりなことだと思います。でも逆に言えば、週末に遊べていないのでしょうか。さらに言えば保護者も週末に疲れてしまっていることなのではないでしょうか。いずれにしても基本的な生活習慣の確立は、学習意欲などを高めるためにも必要なことなので引き続き家庭への啓発をお願いします。</p> <p>○朝ご飯を食べない児童がいるとすれば、評価ができませんね。ぜひ三食を大事にしてもらいたいです。</p> <p>○保護者の温度差があるので家庭への啓発を行ってください。</p>

※ 評価 大変良い…4 良い…3 もう少し…2 改善を要する…1

評価項目	評価指標	具体的手立て	現状（達成状況及び対策）	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
3 体力の向上	(2) 食育の充実	② お弁当の日の実施 (調理関わり率80%以上)	本年度は54.2%で目標達成はできていない。献立作成や一緒にお弁当の材料を買いに行くなどの間接的なかかわりは多くの児童が行っているが、実際に調理へのかかわりまではできていない現状である。学校では栄養教諭を招いて弁当作りや栄養についての授業を行ってきているが、今後お弁当の日では発達段階に応じて目標を設定するなどの手立てを講じていく。	2.5	2.5	<p>○世界的には日々の食事がまともにとれない子どもたちがいることを授業でもっと取り上げ、「いただきます（すべての食べ物はその命を頂くこと）」の心を育ててください。</p> <p>○保護者が主体的に進めたいものです。児童のみならず保護者の意識向上が必要と感じる。</p> <p>○お弁当の日は食育にもつながると思います。ぜひ調理へのかかわりをお願いします。</p> <p>○わたしたちの頃は質素ながらも弁当のおかずを食べ比べたものです。今はできないかもしれませんがお互いに見比べをして感想を言い合うのもいいのでは。</p> <p>○お弁当の日の調理へのかかわり率、これって日頃のお手伝いとどの相関関係があるように思えます。家庭教育力の低下が懸念されますのでこの辺の啓発も大事かと思われます。</p> <p>○家族でしっかり調理にかかると、もっとお弁当も食事（家庭）もおいしくなってくると思いますが。子どもが積極的でないのか。保護者がすすめないのか。</p> <p>○お弁当のおかずを一つでも作れた時に保護者の対応の仕方で作れた喜びを感じさせることが大切だと思います。</p>